



田添 丈博

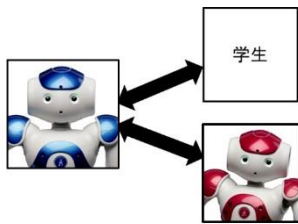
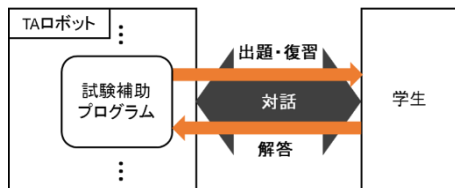
AIで未来はどのように変わるでしょう？

人工知能(AI)がブームです。これからは社会のあらゆるところで、AI技術が徐々に浸透していくことでしょう。AIの得意なこと・苦手なことを明らかにして、我々がよりよく活動できるように。このような観点で、教育分野にAIを活用する研究を進めています。

所属： 電子情報工学科 職名： 教授 学位： 博士(工学)

Mail: tazoe@info.suzuka-ct.ac.jp

Web: [home page](#) [researchmap](#) [Twitter](#)



三者対話

教育補助システムにおける試験補助プログラム

TAロボットに学生ロボットを加えた三者対話の試み

研究

専門 自然言語処理, DBを利用した知的システム

所属学会 情報処理学会, 言語処理学会

研究 教育補助システムのための知識データベースの構築に関する研究, 災害発生時における不特定多数の安否確認手法の確立

Key words 人工知能(AI), ディープラーニング, ヒューマノイドロボット, IoT

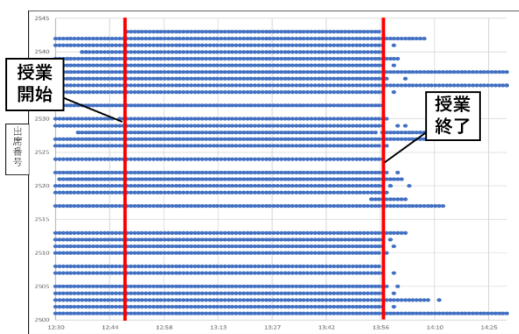
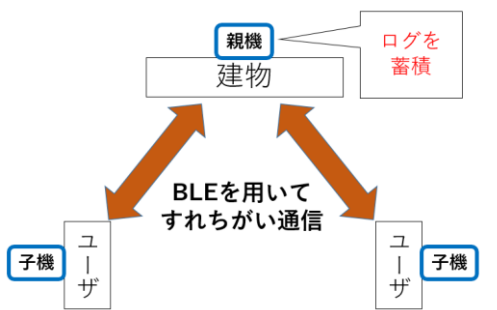
実験装置 Pepper, iPad mini 2 (50台)

論文など [researchmap](#)

教育

担当授業 データ構造とアルゴリズム(3年), 計算機アーキテクチャ(4年), 情報数学(5年), データベース論(専1年), 電子情報工学実験(3年), 卒業研究(5年), 特別研究 I・II(専1, 2年)

プロコン指導 高専プロコン, パソコン甲子園, 情報オリンピック, ACM-ICPC (国際大学対抗プログラミングコンテスト) 等で, 競技プログラミングを主にして指導を続けています。高専プロコンの実行委員でもあります。



安否確認システムとログデータ

災害時にログを用いて動的に安否確認用リストを作成